



古式ゆかしく

多久聖廟 春季釈菜

多久聖廟で4月18日、春季釈菜の祭事が古式ゆかしく行われました。市職員らが扮する伶人が奏でる雅楽が流れる中、献官の横尾市長や市議会議長、教育長、小中学校長などの祭官が、孔子らにお供え物をささげました。

式典が終わると、『参列生徒の唱歌』を中部小1～5年生と多久町老人会のみなさんが合唱。仰高門前では中部小6年生が『腰鼓』を、聖廟境内ではあでやかな衣装をまとった西溪中と多久高の生徒が『釈菜の舞』を披露し、華を添えました。

市内在住の音楽家・趙勇さんが揚琴を演奏すると、市内外から訪れた観光客が懐かしい童謡を一緒に口ずさむ姿も見られ、会場が和やかな雰囲気になりました。

多久の美人度急上昇!!!

高齢者向けお化粧品教室『べっぴん塾』

「春です！おしゃれしてでかけてみませんか！」と社会福祉会館で、3月30日高齢者向けのお化粧品教室『べっぴん塾』を行いました。

60～80代の24人が参加し美しく、若々しく、元気にみえるお化粧の仕方を習いました。緊張した面持ちで始まった教室は、色鮮やかな化粧品に囲まれ、(株)花王の専門家が施してくれる化粧術に穏やかなムードに変わりました。みなさん10歳くらい若返るほど美しく生まれ変わり、教室が終わると「こんなに綺麗にお化粧してもらったので、このまま帰るのがもったいない」と。多久の高齢者のみなさんもプロの手で新しい春が来たようでした。



▲お化粧をしてもらう参加者

「ひよりちゃん」反射板贈呈

J Aさがより新1年生に

「新1年生の交通安全に役立てて」と、JAさがより多久地区の役員や生産組合協議会代表らが教育委員会を訪れ、「ひよりちゃん」の反射板171枚と「さがびより」を中川正博教育長に贈呈しました。ランドセルが付けられるひよりちゃんの反射板は、夜間ドライバーに歩行者の存在を遠方からわかるようになります。

4月12日の入学式で市内の新1年生全員に渡されました。



3/28

幼年消防クラブ活動が他の模範
なごみ保育園が感謝状を受賞

なごみ保育園幼年消防クラブ（昭和58年4月1日結成）は、火災予防思想の普及に貢献した功績が認められ県知事から表彰されました。結成以来、全国火災予防期間中には、防火法被を着用して通園し、地域の防火思想普及の宣伝に貢献。一日消防署体験参加や、幼年期における防火教育の徹底にも熱心です。代表して太田和希君と鐘ヶ江陽菜さんが多久消防署で表彰を受けました。



3/25